

英語出前授業 & 海外派遣生徒報告

at 津島市立南小学校

令和元年7月10日(水)



太陽の強い日差しを浴びて収穫された野菜がスーパーに並ぶ季節となりました。本校では、スーパーイングリッシュハブスクール事業の一環として、昨年度に引き続き英語の出前授業を実施しました。今回の授業は、キュウリ、ナス、トマトなどの夏野菜の名前を英語で覚え、実際の英文で使うことを目的に、5年生3つのクラスで行いました。またそれと並行して、約半年前の2月、アメリカ合衆国テキサス州に派遣された生徒3名による派遣報告も行いました。

	松組	竹組	梅組
14:50~15:10	出前授業A(2名)	出前授業B(2名)	海外派遣報告(3名)
15:15~15:35	海外派遣報告(3名)		出前授業AB(4名)

【英語の出前授業の様子】



本校生徒4名は、普段の授業での「教わる」という立場から、「教える」という立場にかわっての経験です。小さくて愛くるしい5年生を前に、7年前の自分の姿を振り返りつつも、成長した自分を子供たちに発信できていました。

最初に野菜をイラストで示し、さらに自分たちが新聞紙で作った「野菜」を使って、児童と一緒に繰り返し発音しました。次に、覚えた単語を Do you like ~? とか Do you have ~? といった英文にあてはめました。その際に、a や an を単語の前につけるなど、単数形や複数形にすることも覚えていけるように工夫しました。

【海外派遣報告の様子】



アメリカ合衆国への派遣は、外務省が主催し愛知県内9校の生徒23名が派遣される事業で、今回が2回目となりました。本校からは3名が参加でした。本校生徒は、テキサス州ダラスでの日々を熱く語りました。話の中で子供たちは、料理のお皿に盛りつけられた、特大の肉とほぼ同じサイズのジャガイモにびっくりしていました。

なお、この出前授業は秋にも予定されています。お互いにとって、さらなる大きな「収穫」があることを期待しています。